

(牛窓) 臨海実験所研究棟 改修

■ 本事業は、老朽化が著しい臨海実験所研究棟（経年39・44年）の機能改善を実施する。

共同利用拠点として文部科学省認定を受けているが、インフラ老朽化による漏水が頻発しており、実験に支障をきたしている。さらに、既存法令等に対応するため、合併処理槽への対応及び排水の系統分けも必要である。それに加え、自治体との共同研究のために派遣される教員のスペースや海外からの研究者の宿泊室がないため、本事業にてスペースの再配置を行いスペースを生み出すとともに、共同利用・研究拠点化を推進するための機能改善を行う。

■ 工事場所：瀬戸内市牛窓町鹿忍

■ 改修延面積：1,377㎡（1,377㎡）

■ 建築面積：（1,143㎡）

■ 構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上2階建

■ 省エネ性能：『ZEB』

■ 設計：岡山大学施設企画部

（建築）（株）綜企画設計

（設備）（株）総合設備コンサルタント

■ 施工：（建築）（株）クレックスタッミ

（電気）（株）三備電業社

（機械）東備建設（株）

■ 工期：令和6年7月～令和7年3月



■ 外観（南東面から）



■ 外観（玄関）



■ 内観（1F アクティブ・ラーニング・スペース）



■ 内観（1F 学生実習室）



■ 内観（2F 宿泊室）



■ 内観（1F 廊下）